



森本 貴之 議員

新規、見直しなど 事業の検討は

町長

財政状況をふまえて検討中である

【森本】新規、見直しなど検討している事業は。 【町長】どの事業を取捨選択するか、財政状況をふまえて検討中だ。

【森本】予算要求の概算は、約13億円超過と見込まれている。どこに重点を置き、取捨選択を進めるのか。

【町長】時代が変わり役割を終えたものをやめる、同じような事業であれば集約する、費用対効果が見込めない事業を改善するなど事務事業評価の内容に沿って進める。

【森本】社会背景が変わっていくなかで、必要な事業の考え方は重要である。授業でのICT活用、国際交流などの視点をどう考えるか。

【教育長】ICT機器を取り入れた授業づくりを進め、グローバル化が提唱されるなかで、幅広い視野を持った児童生徒を育てていきたい。



安心安全な暮らしのために

国土強靱化 地域計画の現状は

町長

遅れている事案があれば対応する

【森本】自主防災組織の組織率は。 【町長】165集落中122集落に設置しており、74%である。

【森本】鳥取県西部町村国土強靱化地域計画の現状は。 【町長】平成30年3月に西部7町村で計画を策定した。今年度中は

【森本】避難行動要支援者個別計画の策定状況は。 【町長】本人の同意があれば、集落で個別計画を作成している。

【森本】問評価の年度である。合同で進ちよくの状況の確認をし、本町が遅れている事案があれば重点を置き対応する。

子どもと大人との つながりは

町長

自主組織を中心に取り組む



世代を越えて広がるつながりの輪

【森本】つながりの豊かさ指標への今後の取り組みは。 【町長】町民を対象に調査をした結果、地域への愛着や住民同士の協力が強みや魅力であることがわかった。

一方、子どもや若者の暮らしやすさが実現できていないという課題には自主組織を中心にまちづくりとして取り組む。

【森本】故郷を大切にする気持ちの醸成は大切である。教育委員会とのさらなる連携が必要では。 【町長】今後も教育委員会としっかり連携してやっていく。